



令和2年7月豪雨犠牲者追悼式	2
地域の安全・安心連携協定締結式	5
蒲島知事 被災者と意見交換会	6

令和2年7月豪雨犠牲者追悼式



7月25日、しるやまスカイードムで、令和2年7月豪雨災害で亡くなられた方や、行方不明者の家族が参列し犠牲者追悼式が開催されました。

式では竹崎町長は「災害に強い、安全・安心に暮らせる芦北町を、みんなが『ここに生まれてよかった』『ここに住んで良かった』と思える新しい芦北町を築き上げていく」とこそが、私たちに与えられた使命である」と式辞を述べ、蒲島知事は「被災された方にしっかりと寄り添い誰一人取り残さないという強い思いを胸に、被災地の創造的復興と、被災者のこころの復興に取り組んでいきます」と式辞を述べました。土砂崩れで両親を亡くした小崎奈美さんが、ご遺族代表の言葉や述べ「もう誰にも私のような後悔はしてほしくありません。災害時に『まだ大丈夫』『自分は大丈夫』『今まで大丈夫だったから今回も大丈夫』と楽観的に考えず早めの避難をし、命を守るための行動をすることの大切さを語り継ぐことが、生き残った者の使命だと考えています」と被災の無念を後世へ伝える大切さを話しました。

竹崎町長式辞

令和2年7月豪雨災害の発生から1年を迎え、熊本県との共催の下、犠牲者追悼式を挙げるにあたり、犠牲となられた方々に対し、町民を代表して謹んで哀悼の誠を捧げます。

1年前、悪夢のような豪雨災害により、11名の尊い命が失われ、今なお1名の方の安否が確認されておりません。

ご遺族をはじめご親族の皆さまには、大切な方との突然の別れに、辛く悲しい時間を過ごされましたこと、そのご心痛はいかばかりかとお察し申し上げます。町を預かる者として、哀惜の念に堪えません。

あの日を振り返りますと、当たり前の日常が一変した日でありました。7月4日未明から猛烈な雨が降り続き、災害対策本部に入る情報時は時を追うごとに深刻さを増していきました。これまでに経験のない大規模な災害が発生すると直感し、人命保護を最優先に、自衛隊や消防、警察など関係機関に協力を要請して、救助活動にあたっていました。しかしながら、未曾有の大災害は無情にも多くの尊い人命を奪ってしまいました。

球磨川や佐敷川をはじめとする町

内のあらゆる河川が氾濫し、佐敷地区を中心に家屋の浸水被害は2,000戸に上ったほか、道路崩壊や土砂崩れも重なり多数の地域が孤立する事態となりました。

球磨川流域では、急激な増水によって住宅や道路、鉄道が濁流に呑み込まれ、その壊滅的な爪痕は今もなお残ったままとなっています。

発災直後に被災現場を訪れ、まさに『惨状』としか形容のできない状況を目の当たりにしたときは、文字通りこの身が引き裂かれる思いでありました。

これまで、国や熊本県をはじめとする各自自治体、関係機関などから多くの支援をいただき、復旧・復興の歩みを進めてまいりました。

蒲島知事におかれましては、発災直後で大混乱する本町に迅速な人的投入、物的支援を行っていただき、混乱期の初動調整にご尽力いただきました。その後も被災現場や避難所を自ら訪問され、被災された町民の方々をお見舞いいただくとともに、県独自の支援策を積極的に講じていただきま

した。また、本日ご臨席いただいております金子代議士には、発災直後から幾度となく本町の被災現場へ入られ、そ

の窮状と支援を関係省庁へ強力に働きかけていただきました。

さらに、他の国会議員、県議会議員の方々、市町村長の皆さまにも発災直後から多方面で親身に優るご尽力をいただきましたことに、この場より心から御礼申し上げます。

そして、自衛隊や警察、消防の皆さまはもちろん、ボランティアの皆さま、全国、海外を問わず、義援金や救援物資、心温まる応援メッセージ等を送っていただいた方々など、ご支援を頂きました多くの皆様、自宅の被害も顧みず、避難誘導、人命救助、土砂の撤去など地域のために多岐にわたって活動された消防団、自主防災組織の皆さま、地域の声なき声をすくい上げ、課題の解決に尽力された行政区長会の皆さま、発災直後の危険な現場において道路啓開等に従事頂いた建設業の皆さま、自主的に炊き出し等の支援を行われた多くの方々など、共に支え合い、助け合う姿は町民の心を二つにし、復旧・復興へと力強く歩を進める原動力となりました。これらご尽力いただいた町民の皆様に、心から感謝申し上げます。

芦北町では、本年を「復興元年」と位置付け、今年2月に策定した「芦

北町復旧・復興計画」に基づいて、被災された方々の生活再建を第一に、スピード感をもつて各種事業を実施しております。

一方、今なお300世帯を超える方々が避難生活を余儀なくされております。被災者の皆さまが、それぞれのペースで無理なく日常生活を取り戻せるよう、地域支え合いセンターと連携を取りながら、これからもお一人おひとりに寄り添った支援を行ってまいります。

豪雨災害から1年が経ち、町内各所に残る生々しい傷痕も、今後目に見える形で復旧が進んでまいります。しかしながら、大切な方を亡くされたご遺族、未だ安否もわからないままとなっておられる方のご親族が抱えられている心の傷は、早々に癒えるものではありません。私自身、昨年7月4日のあの日から、犠牲となられた方、行方が分からぬままになっておられる方へ、思いを馳せない日はありません。「どうすれば被害を防ぐことが出来たのか」、「どうすれば災害が発生しないようにできるのか」、これからも日々問い続けていくことになります。そして、災害に強い、安全・安心に暮らせる芦北町を、みんなが「ここに生まれてよかった」、



式典後はたくさんの方に献花を頂きました。



遺族代表のお言葉

小崎 奈美

遺族を代表いたしまして追悼の言葉を申し上げます。

令和2年7月豪雨により亡くなられた方々へ心より哀悼の意を表しますとともに、ご遺族の皆様にご挨拶を申し上げます。

あの雨の日から1年がたちました。あの日から、雨の日は落ち着きません。令和2年7月4日、豪雨により発生した土砂崩れによって自宅は土砂に押しつぶされました。1階にいた両親は亡くなり、2階にいた私はこうして生きています。

あの日の朝、「女島の釜地区で土砂崩れが起きて救急車で運ばれた人がいるらしいよ」という姉からの電話で目が覚め、1階で寝ていた両親を起こしました。父はびくりしてすぐテレビをつけて観始め、母は眠そうにしながら起きてきました。私は玄関から外の様子をうかがい、ひどく降り続く雨や裏山から水が勢いよく側溝に流れていく様子を目にしました。「避難したほうがよかろうか？」と父に尋ねると、父は何とも言わず、私は2階のテレビをつけっぱなしにしていたことを思い出して、2階に上がりました。テレビの前のいつもの定位置の座椅子に座る父と台所でポットのお湯が沸くのを椅子に座って待っている母が、私が最後に見た二人です。私が2階に上がった数分後、裏山からメリメリと嫌な音がして崩れるというのが感覚でわかりました。その後、ゴーという大きな音とともに家が土砂で押し流され、私は自室から階段上のスペースに押し出されました。家が傾き、電気は消え、箆箆や柵など、すべての物が倒れてぐちゃぐちゃな状態でした。階段下は土砂でびっしり埋まっていた。1階の状態が全く見えませんでした。あの階段を埋める土砂を目にした時の絶望感は忘れることはできません。何度も「お父さん お母さん

ん」と両親を呼びました。しかし何度呼んでも呼びかけにこたえる声はありませんでした。

私は近所の方々に助け出され、両親の捜索も自衛隊や消防隊、県警機動隊、地元消防団などたくさんの方々にご尽力いただきました。夜通し探していただき、5日の朝方に発見していただきました。しかし、どうにか生きていてほしいという望みは叶いませんでした。

父・清は69歳、母・峰子は68歳でした。今年は古希のお祝いをするはずでした。まだまだ長生きできるはずでした。あのとき、なぜ避難しよう、2階のほうが安全だからと2階に上がろうと言わなかったのか、悔やんでも悔やみきりません。あのとき両親を助けられたのは、一緒に住んでいた私だけでした。土砂に押しつぶされ苦しく痛い思いをしながら亡くなった両親のことを思うと胸がはりさけそうで、今でも涙が出ます。

毎年のように、日本のどこかで自然災害が起こっています。7月3日に発生した熱海の土砂崩れも他人事とは思えず、涙が止まりませんでした。もう誰にも私のような後悔はしてほしくありません。災害時に「まだ大丈夫」「自分は大丈夫」「今まで大丈夫だったから今回も大丈夫」と楽観的に考えず、早めの避難をし、命を守るための行動をすることの大切さを語り継ぐことが生き残った者の使命だと考えています。この思いを風化させぬよう努め、芦北町の復旧・復興に尽くしてまいります。

改めて、両親の救助活動にご協力いただいた方々、温かいお言葉をかけてくださった地域の方々、ご支援いただいた多くの皆様にご挨拶申し上げます。この災害を経て、人の優しさや繋がりを強く感じました。幼馴染や学生時代の友人、職場の同僚、地域の方々、たくさんの方に助けられ、手を差し伸べていただきました。いつかの恩返しができるよう、一生懸命頑張つて生きていきます。

最後になりましたが、芦北町並びに熊本県の皆様には、本日このような追悼式を開催していただき誠にありがとうございます。また、ご来賓の方々には、ご多用な中、ご出席を賜り心よりお礼申し上げます。芦北町、そして令和2年7月豪雨にて被災したすべての地域の一日も早い復興を心から祈念し追悼の言葉とさせていただきます。

ドライブレコーダー等の活用による地域の安全・安心連携協定締結式



▲後列左から、芦北町社会福祉協議会長、あしきた農業協同組合長、水保芦北森林組合長、熊本日日新聞芦北販売店グループ理事
前列左から、芦北地域振興局長、芦北町長、芦北警察署長、芦北消防署長

8月3日、芦北町と芦北警察署・熊本県地域振興局・芦北消防署・その他一般事業所（4業者）と連携協定締結がありました。

これは、事業所等で設置しているドライブレコーダー等の映像を交通事故や犯罪発生時に警察の協力要請を受けてスムーズに提供し事件の早期解決に活用するものです。

町長は「これまで芦北町は、防犯灯の新規設置や更新、公共施設や個人宅への防犯カメラ設置等の防犯対策事業を行っているが、今回の協定締結が日本一安全な町へのきっかけになれば」と期待を話しました。

今月の表紙



7月22日に御立岬公園で撮影。夏休み最初の祝日でした。皆さん密にならないよう間隔をとって、海水浴を楽しんでました。

コロナ対策のためか簡易テントを持ち込むお客さんが増えました。

人口のうごき (R3.8.1 現在) () 内は前月比			
人	口	16,301人	(-34)
男		7,717人	(-6)
女		8,584人	(-28)
65歳以上		7,340人	(-2)
世帯数		7,092世帯	(0)

2021年 8月号	
2	令和2年7月豪雨犠牲者追悼式
6	蒲島知事 被災者と意見交換会
7	サポカー補助金修了間近！
8	まちのわだい
10	健康ルーム
11	地域おこし協力隊レポート
12	図書館新着図書紹介
13	イベント情報
14	お知らせ
15	芦北に残る文化遺産
16	安全安心だより
裏面	自転車保険加入義務化

サポカー補助金 終了間近！



・サポカー補助金とは？

65 歳以上の高齢運転手に対する「ペダル踏み間違い急発進抑制装置」を取り付けると補助金が出る制度です。

・サポカー補助金の申請期限

〈申請の内容と受付終了見込み〉

申請の種類	申請の内容	受付終了見込み
1	自家用	後付け装置の申請（最大4 万円）※
2		新車の申請（最大10 万円）
3		中古車の申請（最大4 万円）※

※後付けの「ペダル踏み間違い急発進抑制装置」 最大4 万円
 【障害物検知機能（センサー）付き】
 後付けの「ペダル踏み間違い急発進抑制装置」 最大2万円
 【障害物検知機能（センサー）無し】

お問い合わせ先 「一般社団法人次世代自動車振興センター」
 ☎0570 (05) 8850 （受付時間 9:00～17:15 土・日・祝祭日を除く）

消費生活特別相談会

商品購入トラブルや投資話、借金等、お金のことでお悩みの方は、この機会にぜひご相談ください（秘密は守られます）。なお弁護士相談については基本的に事前予約が必要です。

予約は八代市市民活動政策課☎0965（33）4482までお電話ください。

※八代市、氷川町、芦北町の方（在住者、在勤者、通学者）からの相談を受け付けています。

※弁護士による相談は、1 人3 0分となります。

日 時 9月12日（日）
 9：00～12：00 13：00～16：00
 場 所 八代市役所仮設庁舎 東棟1階市民相談室

お問い合わせ先
 八代市消費生活センター ☎0965（33）4162
 八代市市民活動政策課 ☎0965（33）4482



蒲島知事 令和2年7月豪雨災害創造的復興に向けた意見交換会を実施

▶復旧・復興の計画を説明する知事



7月25日、女島仮設住宅のみんなの家（集会場）で、令和2年7月豪雨災害で被災し、仮設住宅に暮らす8人の方が、知事と復旧・復興に向けて意見交換会を行いました。

知事は現在進めている「緑の流域治水」や「復旧復興の取り組み」を説明した後に「復旧・復興の現状や課題等について」意見交換を行いました。

参加した住民からは、「自分が住んでいた地区は5月からやっと土砂崩れの工事が始まった。自宅周辺は長期避難区域になっており、避難解除の時期は何時ごろになるのか」「子どもたちが、災

▶知事が仮設住宅での暮らしを確認



害時の土砂崩れの音を聞いており、雨が降るたびに不安がる。子どもが芦北に住んでよかったと思える支援をお願いする」などの意見が出ました。

参加した人は「不安に思えることがたくさんあって、本当に昔の生活に戻るのか心配していた。意見に対してすぐ回答をいただいたものもあった。被災した私たちに対する、蒲島知事や竹崎町長・荒川県議の声を直接聞けて、当たり前の生活を取り戻せる希望が持てた」と意見交換の感想を話しました。

令和2年度 まち・ひと・しごと創生寄附活用事業（企業版ふるさと納税）寄附実績について

○寄附の活用状況

飲料水供給施設災害復旧事業
 （事業費2千615万2千円）

芦北町では令和2年7月豪雨により被災した飲料供給施設が22か所にのぼり、土砂崩れなどにより給水ポンプの移設を余儀なくされた施設もありました。令和2年度企業版ふるさと納税で賜りましたご寄附は、生活に欠かすことのできない飲料水供給施設の災害復旧事業に活用させていただきました。

※令和3年度も、「芦北町まち・ひと・しごと総合戦略」に基づく事業について、企業の皆様から寄附を受け付けております。

誠にありがとうございます。

芦北町では令和2年度から、「まち・ひと・しごと創生寄附活用事業（企業版ふるさと納税）」の取り組みをはじめ、企業からの寄附を募っています。

令和2年度は3社から合計300万円の寄附を賜りました。いただきましたご寄附は、令和2年7月豪雨災害からの創造的復興と未来を創る強靱な環境整備のため、大切に活用させていただきました。

○令和2年度寄附の状況（受付順）

企業名（敬称略）	所在地
（株）時雨堂	東京都
（株）京浜サプライズ	宮城県
南興建設（株）	熊本県

8/2



芦北町地域おこし協力隊の有害鳥獣関連業務に渡邊義文さんが加わりました。東京から移住する渡邊さんは「興味があった狩猟に関わる仕事がしたくて地域おこし協力隊に応募した。ICT機器を駆使して対策を行いたい」と着任の抱負を話しました。竹崎町長は「鳥獣対策は急務であり期待している」と話しました。

地域おこし協力隊に辞令交付

7/22



大川内東地区の内田喜一さんが女島仮設住宅で生活している方に自家製のスイカを配布しました。内田さんは「昨年の豪雨で、慣れない仮設住宅の生活を強いられる方に、少しでも元気を出してもらいたい」と話しました。思いがけないスイカのプレゼントに皆さん喜ばれていました。

女島仮設住宅でスイカを配布

7/9



湯浦小学校で、芦北町国際交流協会の岩本賢二さんが総合的な学習時間に、カンボジアの現地の生活について話しました。話を聞いた児童は、「お金がないと学校に行けないカンボジアに比べ、日本は大変恵まれている。今後も募金活動を頑張つて、カンボジアの子どもたちのために協力したい」と感想を話しました。

カンボジアの生活について知る

100歳 おめでとう！



白内ヨシエさん
(白木地区)
大正10年7月20日生まれ
若い頃は近くの製材所に勤務し働き者でした。活発な性格で、ゲートボールやグラウンドゴルフなどを体を動かすスポーツに積極的に参加して、毎日仲間と過ごすのが楽しみでした。

7/29



※7月29日の記事はインタビューで芦北町役場を希望した、八代高校2年生の松崎陽向さんと武部幸太郎さんが取材・撮影・編集したものです。コミュニケーションセンターの子どもの広場で職場体験をしている松岡さんに話を聞きました。松岡さんは「男女で遊ぶ方が違っていることに驚きました。子どもの広場が、子ども同士のコミュニケーションをとる場所になっていて、すごくいいなと思いました」と話してくれました。

職場体験にインタビュー！

7/29



御立岬では、各家族がそれぞれ離れて遊んでいる様子が見られました。夫婦で息子二人と熊本市内から来たという内田さんは「子供はソーシャルディスタンスをとるのが難しいため、間隔を取って遊べる海は安心できます」と話しました。息子のしようま君は「楽しい！」と笑顔で話してくれました。

距離を保って海を満喫！

7/12



田浦小学校と宇城市立不知火小学校はICT機器を活用した交流授業を行い、お互いの特産品について調べたことを発表しました。交流した児童は「不知火小の発表で、カメムシがつくとデコポンが茶色くなることを初めて知った」「大きな声で発表することができてよかった」などの感想を述べました。

ICT機器を活用した交流授業

7/9



大野小学校の5、6年生に対して租税教室があり、税金について学びました。町税務課職員が講師となり、税金の大切さや、納税の重要性を分かり易く教えました。授業を受け「小学校では一人に7万円の税金が使われていることを知った。学校は大切に使わないといけない」と児童は話しました。

大野小学校で税金の大切さを学ぶ

「一口目は野菜から」 ～作り置き野菜レシピ～

オクラのおかか和え



材料（作りやすい分量）

オクラ 40 本（400g）

★ { 醤油 大さじ 5 杯 かつお節 10g }
 { みりん 大さじ 3 杯 }

作り方

①オクラはガクをむき取り、塩（分量外）をふって板ずりしてさっと洗い、茹でて4～5等分に斜めにきる。

②ボウルに★を入れて混ぜ、①を加えて和える。

全体量 エネルギー 327kcal 塩分 14.6g

※冷蔵庫で3日、冷凍庫で1か月程度保存できます。

地域おこし協力隊として最後のレポートとなりました井上です。

3年間の任期は短く、任期中に「新型コロナウイルス」や「豪雨災害」により、着任当初の事業内容を変えることになりました。しかし、移住後の「目標」は変えず8月末で退任後はこのまま芦北に残り、観光事業を中心に活動したいと考えています。

移住を決める前は仕事と在宅介護に疲れ果て、眠れず息をするのも苦しい中、親の最後を看取った後は抜け殻でした。

「地域おこし」に特別な知識があった訳でもなく、実際芦北に来てみたら町の人は『なんもなかる』とため息交じりの言葉。私は『とてもない！』と思い、この町の良さを残し「商売」にすることが目標になりました。



フェイスブック更新中
「芦北町地域おこし協力隊」



鳥のさえずりで目覚め、木々渡る風の音、水の音に癒され、ヒグラシの鳴き声を聞き、草の葉、木々をなでる天然の風が涼を運び、虫の声、蛙の合唱を聞きながら眠りに落ちる。竹林に降り注ぐ雨音は耳に優しく、雨上がりに光る植物は美しい。人工物でなく、目の前にある天然モノで四季を感じる。春の花見、夏の海水浴、日常から離れキャンプでは少したくましくなり、火を囲み語らう。それらは滞在するから楽しめる。持ち帰れないこれらの良さを売り物にできるのが観光業で、集まる人にも旬のおもてなしを提供する。それは個人では難しく、私の年齢では時間も足りず、既にある事業所と連携することが効率的で御立岬公園は最適だと思えたわけです。

私には微々たる力しかありませんが、町の魅力発信も続けていきます。町民の皆様、優しく受け入れていただきありがとうございます。親戚筋の方々には何かと、ご助力いただき、苦労することなく町になじむことができました。私の地域おこし協力隊活動に関わっていただいた全ての皆様に大変感謝しております。

これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

健康ルーム Vol.38

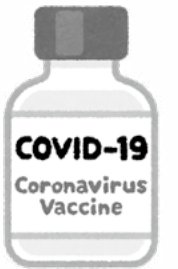


健康増進課
Facebookで
情報発信中



新型コロナウイルス ワクチン接種情報

現在、12歳～64歳の人々のワクチン接種を進めています。



○医療機関での「個別接種」を希望した人は、予約はお済みですか？

7月26日（月）から基礎疾患を持つ人などから順に予約受付が始まりました。ワクチン接種には必ず予約が必要です。各自で医療機関への予約をお願いします。

また、予約をキャンセルする場合や指定された日時に接種に行くことができなかった場合は、できるだけ早く予約した医療機関へ連絡してください。

○「集団接種」を希望した人には、実施日時を通知しました。

集団接種は、3会場で実施します。指定された日時で都合が悪い場合は、必ず健康増進課へ連絡をお願いします。

○重複予約にご注意ください。

県民広域接種センターなどの会場でもワクチン接種が実施されていますが、医療機関での個別接種や町が実施する集団接種との重複予約はできません。接種しない場合は、必ずキャンセルの連絡をお願いします。

○令和3年7月29日以降に芦北町に転入した人で、新型コロナウイルスワクチン接種を希望する人は、クーポン券等を発行しますので、健康増進課へお問い合わせください。

○ワクチン接種の際に必要なもの

①新型コロナウイルスワクチン接種クーポン券（接種券）

②新型コロナウイルスワクチン接種予診票（ピンク色の用紙）

③本人確認書類（マイナンバーカード、運転免許証、健康保険証など）

※クーポン券（接種券）及び予診票をなくした場合は、再交付ができます。

ワクチン接種の前に、印鑑を持参のうえ、健康増進課（月～金 8:30～17:15）へお越しください。

○ワクチン接種は、接種当日に

12歳以上の人が対象です。

今後12歳になる人には、誕生月の前月にクーポン券と接種のご案内を郵送しますので、接種を希望する場合は、「ワクチン接種申込書」を健康増進課へ提出してください。

※「新型コロナウイルスワクチン接種申込書」が未提出の人で、新たに接種を希望する人は、健康増進課へお問い合わせください。

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、イベントが中止になる場合があります。
お出かけ前にイベントが開催されているかをご確認ください。

子育て支援センター（9月の行事）

7日(火) 肥後うららへお散歩へ行こう
13日(月)～17日(金) おじいちゃんおばあちゃんのプレゼント作り
24日(金) クッキング(おやつを作ろう)
28日(火) 身体測定・誕生会
※子育て支援センターは未就園児と保護者なら誰でも利用できます。(一時保育も行っています)
※子育て仲間づくりや情報交換にお気軽にご利用ください。
▶支援センター利用時間 毎週月曜日～金曜日
9:30～12:00 14:45～17:15
*問い合わせ先
子育て支援センター（田浦保育園）☎（87）0034

芦北町・八代市・氷川町定住自立圏
イベント情報

八代市 米国空軍太平洋音楽隊
”パシフィック・トレイズ”八代公演

プロの演奏家が本場アメリカの音楽をお届けします！
▶日 時 10月21日(木) 開演 18:00～
▶場 所 桜十字ホールやつしろ市民ホール
▶対 象 小学生以上※小学生は保護者同伴
▶入場料 無料
▶申 込 メール・ハガキ・FAXに住所・氏名・電話番号・申込人数を記入し申し込みください。
*問い合わせ先
やつしろ国際協会 ☎0965（33）6846
mail：yatsushiro.kokusai@gmail.com

氷川町 立神峡里地公園

山に囲まれた自然あふれる公園内には、ログハウスやロッジ、キャンプ場などの宿泊施設があります。また、様々なサイズのテントを常設しており、「ソロキャンプ」もできます。
▶場 所 八代郡氷川町立神 648-4
▶受付時間 8：30～17：30(火曜日は休館日)
*問い合わせ先
立神峡里地公園
☎0965（62）1543

児童館からのお知らせ(9月の行事)

《芦北児童館》
「切り紙と紙コップで置物を作ろう！」
▶日時 9月18日(土) 13:30～15:30
▶内容 好きな形に切った折り紙と紙コップを使って、オリジナルの置物を作ります。
《湯浦児童館》
「地域のおじいちゃん、おばあちゃんと交流を深めよう」
▶日時 9月18日(土) 13:30～15:30
▶内容 老人会のおじいちゃん、おばあちゃんと歌や手遊びで楽しい時間を過ごします。
利用時間 毎週火～日曜日 10：00～18：00
*問い合わせ先 芦北児童館☎（82）3036
湯浦児童館☎（86）0074

芦北町・水俣市・津奈木町広域
イベント情報

水俣市 秘湯の地で癒し体験！
「みなまた和紅茶ソムリエツアー」

みなまた和紅茶実行委員会が、湯の鶴周辺、みなまた和紅茶を楽しむ「みなまた和紅茶ソムリエツアー」を開催します。
▶日 時 9月19日(日) 10：00～14：00
▶場 所 湯の鶴周辺
▶参 加 費 4,300円(弁当込み)
▶申込方法 水俣市HP参照
*申込・問い合わせ先 水俣市農林水産課内
みなまた和紅茶実行委員会事務局
☎（61）1634

津奈木町 今が旬！「つなぎ金鯉フェア」

今年も「つなぎ金鯉フェア」を開催します！
町内の飲食店や販売店で鰻天丼や鰻しゃぶなど、こだわりの鰻料理を提供します。本町の酒蔵「亀萬酒造」の夏限定純米酒「亀萬」も併せてお楽しみ下さい！
▶開催期間 9月20日(月)まで
▶対象店舗 末広屋、かなり、つなぎ温泉四季彩とればあん、よりみち、水光社津奈木店
*問い合わせ先
つなぎ食の振興協議会（津奈木町商工会内）
☎（78）3580



ドキュメント
湊 かなえ 著
(KADOKAWA)
圭祐たち放送部は、全国大会を目指してドキュメント作品を作りはじめるが、思わぬ人物の予期せぬ姿が撮影され…。誰が仕組んだ異なのか？ 湊かなえがおくる高校部活小説。



へんてこたいそう
新井 洋行 作・絵
(小峰書店)
トイレのマーク、非常口のマーク、ごみばこのマーク…。街のマークが体操をはじめた!? いっちに、いっちに。思わず一緒にやりたくなる体操がいっぱい! 最後に現れたマークは? マークへの興味がわく絵本。

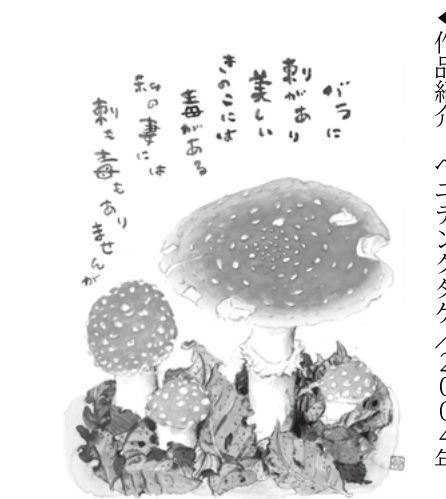
図書館
新着図書紹介

利用時間 (月曜休館)
火・木・金 9：00～18：00
水 9：00～20：00
土・日・祝 9：00～17：00
※9月から平日の開館時刻が午前10時になります。

絵本の読み聞かせやってます!
第2・4日曜日
①11：00～ ②15：00～
場所：子どもの広場

新着図書数[8月分]
一般図書 54冊
児童書・絵本 27冊
合計 81冊
蔵書総数 55,536冊

星野富弘
美術館だより



▲作品介绍 ベニテングダケ／2004年
この機会に是非ご覧ください
期 間 10月10日(日)まで
開館時間 午前9時～午後5時
休館日 第2・4月曜日(祝日除く)
季節の常設展では、「なんとかなるさ」や「雨上がりの道」など、星野富弘の夏・秋の草花を題材とした詩画作品を展示します。
富弘作品には、ユーモアたっぷりの作品群があります。『バラに刺があり 美しいきのこには毒がある 私の妻には刺も毒ありませんが』（ベニテングダケ）添えられた詩をついつい口ずさんでしまいます…。そんな作品たちは見る人をホッとさせ和ませてくれます。本展では、「メン類」や「へくそかずら」、「ベニテングダケ」など、富弘作品に流れるユーモアの世界を探ります。
特別展『笑っ展』／季節の常設展『夏・秋』

肥薩おれんじ鉄道からのお知らせ

肥薩おれんじ鉄道管内では、過去に線路内立入行為による重大事故が発生しています。大変危険ですので線路内への立ち入りはお止めください。
なお、線路内に立ち入った場合は鉄道営業法により罰金刑に処せられます。

*問い合わせ先

肥薩おれんじ鉄道（株）総務部
☎0965（32）5678

「児童福祉週間」標語の募集について

毎年5月5日の「こどもの日」から1週間を「児童福祉週間」と定めて、児童福祉の理念の普及・啓発のための各種行事を行っています。令和4年度の児童福祉週間に向けて、その象徴となる標語を募集します。

○募集内容

子どもたちを応援する標語や未来に向けての子どもたちからのメッセージとなる標語

○応募資格 どなたでも

○応募方法

インターネット、メール、ファックス、郵便など

○募集締切 9月30日（木）

*申込み・問い合わせ先

（公財）児童育成協会「標語募集」係
☎03（5357）1174
FAX 03（5357）1809

八代圏域企業相談会の開催について

八代圏域企業相談会を下記のとおり開催します。八代圏域企業への就職をご希望の方（既卒者）、お気軽にご相談ください。

○日時 9月11日（土）13：00～17：00
○場所 イオン八代 2階フードコート横
○対象 既卒者（八代市・氷川町・芦北町にある企業への就職希望者、その家族、友人など）
*問い合わせ先

八代圏域雇用促進センター
☎0965（37）8772

熱海市土砂災害に伴う募金箱の設置について

令和3年7月3日に発生した土砂災害により、熱海市で甚大な被害が発生しています。芦北町では、早期復旧・復興を支援するため、募金箱を設置しました。

皆さまの温かいご支援をお願いいたします。

○設置場所 町内9カ所

芦北町役場本庁、田浦支所、湯浦出張所、吉尾出張所、大野出張所、コミュニティセンター、大野温泉センター、御立岬温泉センター、肥後つらら
○設置期間 令和3年9月30日（木）まで

*問い合わせ先

総務課 総務係
☎（82）2511（内線219）

第2回危険物取扱者試験

○種類 甲種、乙種（第1類～第6類）、丙種
○試験日 11月7日（日）
○場所 熊本市、八代市、天草市、玉名市
○願書受付期間

【書面申請】9月9日（木）～16日（木）
【電子申請】9月6日（月）～13日（月）
*申込・問い合わせ先

熊本市中央区九品寺1丁目11番4号熊本県教育会館4階
（一財）消防試験研究センター熊本県支部
☎096（364）5005

高齢者のための無料職業紹介

高齢者（概ね60歳以上）の人々が働ける職場開拓と職業相談・紹介を行っております。生きがいをもてる、社会貢献に役立てたいなど長年培ったあなたの豊富な知識と経験を活かしてみませんか。もう少し働いてみたいという方もお気軽にご相談ください。

○相談受付日時

毎週 月・水・金 10：00～16：00

○相談場所 芦北地域振興局 福祉課内

*問い合わせ先

熊本高齢者無料職業紹介所
☎（82）5310

芦北に残る文化遺産

（先月号からの続き）本丸から二の丸に南方向に続くグリ石を追っていくと、二の丸に謎の落ち込みがあることが予想されました。

この正体を探るべく、瓦片が堆積している当時の地表面上に乗っかっているグリ石を取り除いていくと、予想通りグリ石が厚く堆積した部分が姿を現しました。この部分のグリ石層は1m以上堆積していることから、落ち込みがあることは確実になり、さらにグリ石を取り除きながら掘り下げると、グリ石に混ざって石垣の石材が幾つも出土し始めました。人力では持ち上げられないため、チェーンブロックを組んで一つ一つ取り除き、8個目の石材を取り上げると、赤色の粘質土と瓦片の堆積が姿を現しました。

いよいよ底が近くなったとの感触が得られたことから、瓦片を取り上げながら掘り下げると、瓦片は60cmも堆積し、ようやく底にあたる床面が検出されました。地表から底までの深さは約3m50cmにもなりまし

117 佐敷城跡

《佐敷城の歴史56》 国指定史跡
平成20年3月28日指定

更に詳しく調べると、地山を急傾斜に削り出した内壁が四方で確認され、底付近の広さは縦横3m以上の広さがありました。床面は固く締まり、内壁との間には溝状の掘り込みが四方に廻り、コーナーにあたる部分からは幅20cm、深さ15cm程の円形の穴が複数見つかりました。このことから、内壁には溝状の掘り込み部分に板などを積み重ねて壁を作り、円形の穴に立てた柱に架け渡していた可能性があり、地下蔵などの機能が考えられます。地下蔵などの地下室遺構は、江戸の町屋でも一般的に設けられていたことが近年の発掘調査で分かっており、近くでは人吉城内にある相良清兵衛屋敷跡でも出土しています。



▶発見された地下室遺構

短歌

芦北短歌会

世の中の息苦しさの中に住み深呼吸して短歌詠みいる 門寺 真弓

草の間に一際高く鬼百合豊かに揺れて朱の色映える 才田 明

シュロの葉で結ぶ短冊七夕の叶えてほしき願いの多く 下田 みお

児童等の笑顔明るさ広報誌笹に七夕短冊流れて 鳥居 静子

御仏飯の整い仕上がる今朝の膳背筋ピシッと一日の始まり 馬場 泰子

イベントカレンダー

21	土	
22	日	・当番医 松本医院
23	月	
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	・3～4か月児健診
28	土	
29	日	・当番医 篠原医院
30	月	
31	火	
9/1	水	
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	・当番医 井上医院 井上病院
6	月	
7	火	
8	水	
9	木	
10	金	・1歳6か月児健診
11	土	
12	日	・当番医 宮島医院
13	月	・7～8か月児健診
14	火	
15	水	
16	木	
17	金	・3歳児健診

編集後記
今年の夏は、エアコン無しで寝ています。どんなに暑くても、使用するのは扇風機だけです。慣れてしまっているの、エアコンの効いた部屋は寒いです。(田中)
賛否両論ある中、東京五輪が開催されました。若手の台頭、番狂わせ、様々な場面が繰り広げられました。選手から「感謝」という言葉が多く聞かれた印象が残ります。不安に満ちたこの時代にも、選手は感謝の気持ちを持ち、溢れる元気で多くの人を励ましてくれました。(西山)

お誕生おめでとう

R3.7.1～7.31 受付分(敬称略) 受付件数6件

氏名	出生日	性別	保護者	区
山本 りさ	6.28	女	司	向町
緒方 れん	7.2	男	隼斗	沖
迫脇 かいと	7.4	男	昌文	芦北
坂本 とき	7.8	男	謙太	田川
成田 まつり	7.19	男	悠里	新町

※本町窓口に届け出た人で、承認を得た人を掲載しています。
町外に提出した人で、掲載を希望する場合は、役場総務課秘書広報室までご連絡ください。

ご冥福をお祈りします

R3.7.1～7.31 受付分(敬称略) 受付件数26件

氏名	死亡日	年齢	区
宮崎 シヅ子	7.1	93	鶴木山
田上 成美	7.3	83	湯浦南
向野 次充	7.3	72	新町
鶴内 博之	7.3	94	乙千屋
溝上 誠一	7.6	68	大野
松本 ヤエ子	7.7	87	松生
川野 九州男	7.10	86	桑原
池田 アヤ子	7.11	94	古石北
尾上 サヨ	7.12	100	黒岩
福島 誠子	7.14	88	乙千屋
門池 實	7.15	93	湯浦東
吉永 ミツエ	7.18	98	八幡
寺本 テルコ	7.19	93	田浦町2
坂熊 ケサエ	7.19	90	塩浸
谷口 正毅	7.19	93	波多島
野田 敏雄	7.21	90	小田浦5
江口 ヨシエ	7.25	74	井牟田2
立道 セツ子	7.26	88	立川
平生 重子	7.27	91	平生
川元 マスエ	7.30	85	田浦町2
上村 登代子	7.31	65	田浦1
塩永 博英	7.31	90	芦北

※本町窓口に届け出た人で、承認を得た人を掲載しています。
なお、掲載の承諾には署名・押印が必要です。



事件・事故は **110** 番
芦北警察署 ☎ (82) 3110



火事と救急は **119** 番
芦北消防署 ☎ (82) 4731

芦北警察署「台風対策を行いましょう」芦北消防署

台風シーズンに入ります! 災害から身を守るために備えておきましょう

正確な情報の入手



停電時でも利用できる
電池式(充電式)のラジ
オやテレビ、携帯電話な
どを活用し、正確な情報
を入手しましょう。

持出品は最小限に



食べ物や飲み物、着替
えなど3日分程度の生活
用品をリュックなどに入れ
て準備しておきましょう。

予防的避難



危険を感じた場合は、
明るいうちからの早めの
避難に心がけましょう。ま
た路面状況には十分注意
してください。

雨や風が強くなる前に、 家屋の補強などの対策を!!

窓や雨戸はしっかりとしめ、必要に応じて補強してください。風で飛ばされそうなものは固定したり、家の中に格納したりなど家の備えをお願いします。



災害用伝言ダイヤル(171) 家族同士の安否確認ができます!

災害が発生した場合、お互いの安否を確認できるよう、日頃から安否の確認方法や集合場所を事前に話し合っておきましょう。伝言は自分の電話番号を知っている家族などが、伝言を再生できます。

録音方法

ダイヤル ➡ **171** ➡ ガイダンス

こちらは災害伝言ダイヤルセンターです。

- 録音される方 ➡ 1
- 再生される方 ➡ 2
- 暗証番号を利用する録音 ➡ 3
- 暗証番号を利用する再生 ➡ 4



2021年
10月1日

義務化



自転車保険加入

みんなの安全・安心
条例内容を
シェアしよう!

熊本県 自転車条例

検索



熊本県では条例^{*}を改正し、「自転車損害賠償保険等」(自転車利用中の事故で、他人の生命又は身体に生じた損害を賠償する保険)への加入が義務になります。※熊本県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例

加害者になってしまうと、1億円に迫る高額な賠償金が生じることも…

9,521万円

歩行者後遺障害(女性62歳)
小学生による無灯火
神戸地裁 H25.7月判決

9,266万円

自転車運転者後遺障害(男性24歳)
高校生による通行違反
東京地裁 H20.6月判決

6,779万円

歩行者死亡(女性38歳)
男性による交差点通行時の衝突
東京地裁 H15.9月判決



※出展:(一社)日本損害保険協会

自転車の安全利用に努めるとともに、声をかけ合って意識を高めましょう!

熊本県

衛生環境部

くらしの安全推進課

TEL 096- 333- 2293

〒862-8570 熊本県熊本市中央区水前寺6丁目18番1号 (行政棟 新館 4階)